

県廃棄物処理センター

本年度末で完全閉鎖濃厚

関係市町団体 焼却残渣受け入れ先確定

四日市市、小山町、県環境保全事業団の廃棄物処理センターに、ごみの焼却残渣を持ち込んでいる四日市市や津市など十市町団体が、同センターに代えて民間業者に残渣の処理を委託することが決まり、十市町団体とも受け入れ先の決まったことが、十日までに分かった。これにより、同センターは平成二十二年度末での完全閉鎖が濃厚となった。同センターへの残渣持ち

込み市町団体は現在、四日市、鈴鹿、津、いなべ、尾鷲、熊野の六市と、三重郡菰野、多気郡多気、北牟婁郡紀北の三町、伊勢広域環境組合。四日市市や鈴鹿市、津市は太平洋セメント津久見（大分県）▽三池精錬（福岡県）▽三重中央開発（伊賀市）、いなべ市や尾鷲市、熊野市、菰野町、多気町、紀北町は三重中央開発、伊勢広域環境組合は中部リサイクル（名古屋）▽三重中央開発に処理委託する。